

# ライブ 3.1 1 vol.2 in 一宮 i-ビル ずっと ... 一宮から (歌い、支え続けていく)

この小さな日本は大陸棚の端に有り、何度も大きな天災に見舞われてきました。

天災とともに生き自然への畏怖と尊敬の念を持って暮らして来たのがこの列島に住む人間の姿なのです。

災いの時こそ支え合ってきたからこそ私たちはここに生まれ育つことができたのだと思います。

二年前の震災は被害に遭った人にとって人生を全く変えてしまう出来事だったと思います。遭わずに済んだ人にはとうてい想像も出来ない経験をされたことと思います。

わかり得ないこと、これは被害に遭わずに済んだ人間にとっても辛いことです。大きな溝ができてしまったからです。

対岸から顔も見えずどんなに大声を出してもやっと声が届くくらい、増してや何を言ってるのかも聞こえず、被害にあったみなさんの声も聞こえない。

そんな状態のまま、早くも二年が経とうとしています。

それを私は越えようとしたのか？

改めて自分のダメさに気が付きグルグルになった頭の中でいつの間にか忘れ去ろうとしている幾つかのことを思い出しています。

特に去年の3/11 祈りの歌い繋ぎの中で「何にもできないでごめんなさい」と思うのは今日限りにしようと思ったことが未だに解決出来ないことが情けなくてたまりません。

ただ、決して動きを止めてはいかんと思うのです。

去年歌い繋いだことで皆の二年目の始まりが確認出来たように三年目を初めなканのです。

これからこの列島で生きて行く人々のために。平和な日本が生まれるように。

相変わらず祈るだけの日になるかもしれません。

いや、自戒の日になってしまうかもしれません。

ただ、この列島に暮らすものとして誰一人として孤立させないと伝える。

それが歌い手の役割なのではないかと思えます。

支えあわなければこの列島では生き延びることなど出来ないのです。

去年より辛い会になるかもしれませんが、今一度祈りの集會に集まってください。

そして、心から歌い楽しむという形で祈りの列に加わっていただきたいと思えます。

2013年1月3日 日本の旅のうたうたい アンボンマン 森香

決してイベントではない。

静かに、しかし強く祈り、歌う。

この日に始まった苦しみを、私たちの中に少しでも組み入れ、この街が共鳴するように。

ここから新たな支援をまた始めたい。歌い、支え続けていくことでも。

私たちが、この日に歌うべきか？…この問いには今も答えが出ないまま、あの大きな天災が始まった時刻の前まで歌い奏でます。

それから一人一人祈りをささげ、復興への願いを形にしていきます。

- 3月11日(月)10時から14時30分まで  
その後各自で黙祷
- 尾張一宮駅前ビル(i-ビル)3階  
シビックテラス
- 中部地域で東北への想いを歌い、奏で続けてきたミュージシャンが歌い繋がります  
\* ユーチューブでの参加も歓迎  
(チャンネル「ずっと一宮」)
- カンパはすべて東北への支援金とします
- 主催 ずっと ...  
(災害支援と減災の一宮市民ネットワーク)  
<http://www.zuttoe.net> [info@zuttoe.net](mailto:info@zuttoe.net)  
企画運営 NPO 法人志民連いちのみや  
<http://www.shimin.org> [info@shimin.org](mailto:info@shimin.org)